

海外巡回健康相談ーミャンマー、ヤンゴン

(2017/9/29-10/3)

1)ミャンマーで健康相談会を実施(9/30-10/1)

ミャンマーの在留邦人数は2016年2,315人(前年比130%)と過去3年間30-40%の増加を続けている。日系企業の拠点数の増加も顕著で2016年は前年比14.7%増加し397だった。

今年度第4回目の海外巡回健康相談は今年で3度目となったミャンマーのヤンゴン。8月にサクラタワーに移転した新ヤンゴン日本人会事務所を会場に、9月30日(土)、10月1日(日)の2日間歯科と小児科相談会を実施した。



ミャンマー巡回健康相談実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ヤンゴン (9/30, 10/1)	ヤンゴン日本人会 (サクラタワー)	小児科相談会	元田玲奈先生	14
		歯科相談会	田中健一先生	45

参加者合計 59名

2)ヤンゴン日本人会

- ヤンゴンの健康相談会はヤンゴン日本人会(井土光夫会長)の主催でJOMFの協力により実施された。
- 相談会を担当くださったのは、日本人会厚生担当の荒木 裕さん。受付は日本人会事務所に勤務するカインさんが今年も対応してくださいました。



日本人会厚生担当の荒木さん。今年も受付のお手伝いをしてくれた日本人会のカインさん。

3)歯科相談会

- 歯科相談会を担当した歯科医は北京天衛診療所 医療顧問の田中健一先生。
- 今年も更に進化したプラークライトでみがき残しや虫歯をチェック。高精細度の大型モニターに映し出された口内映像で家族全員がみんなの歯をチェック。



4)小児科相談会

- 小児科相談会の担当医はシンガポールの日系クリニックの院長を務める元田玲奈先生。
- プロフィール: 1996年東京大学医学部医学科を卒業。東大医学部附属病院、千葉西総合病院、鹿児島県徳之島徳洲会病院、シンガポールInstitute of Molecular and Cell Biologyで基礎研究に従事し、医学博士号取得。虎ノ門病院を経て現職。



5)ヤンゴン医療事情

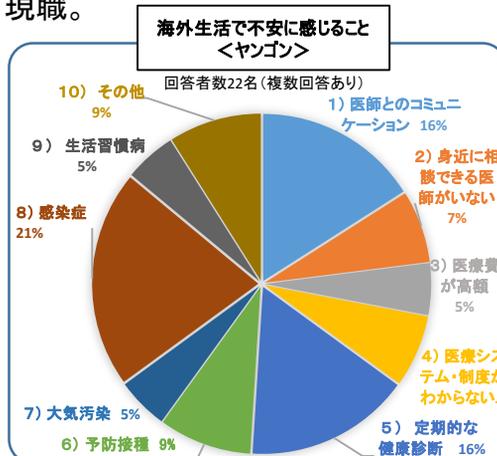
相談会の参加者へ現地の医療事情についてアンケートを実施。ヤンゴンにおいて医療に不安を持つ人は92%。

不安要因は;

- ①感染症(21%)
- ②医師とのコミュニケーション(16%)
- ②定期的な健康診断(16%)

海外医療事情調査の詳細はJOMFホームページの会員専用ページ参照

昨年に引続き今年度も東京医科歯科大学歯学部と協力し、「海外に在住する日本人小児の口腔保健および生活習慣に関する調査」を実施している。



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の地域には、2001年から専門科目の日本人医師を派遣して、海外巡回健康相談を行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業界をサポートする講演会、セミナー等を開催している。

JOMFの事業内容ー海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyoku/special.htm>